

直売所・加工所の早期実現 で農・産業振興の推進を

寺田 純子 議員



Q 現在、計画進行中と言われる玉村町農村公園計画は遅々と進まず、暗礁に乗り上げた状態です。何が障害になっているのか検証し、農業・農村活性化のため、何をなすべきか伺います。

A 町長 長年の懸案事項が、カントリエレベーターの竣工以来、休息状態であることは反省して

Q この計画は町行政ゾーンの取得からはじまるものです。国の三位一

A 町長 今年1月24日に持っただけですが、

Q 去年12月、J A・町・議会三者による第二回農政懇談会で、計画推進の検討委員会を持つて話し合うこととなったが、その後どうなったのか。

Q 国の農業政策の改革で厳しい状況の中、

A 町長 農村公園全体の整備は、多くの法令のクリアだけでなく、投資経費も莫大となります。全体計画とは別に、設置可能な施設から検討・研究します。

Q 体改革・合併・自立の選択など、町の状況も変わりました。町行政ゾーンとするJ Aたまむら支所用地を、現在買う予定はないとのことですが。

Q J A女性部は直売所・加工所の取り組みに意欲的です。農業の活性化と張り合いを持って活動する場づくりの推進を。

A 町長 J Aと相談し、直売所の現状とあり方、今後の発展性、必要性を踏まえた中で努力します。

A 町長 今年1月24日に持っただけですが、



役場から見たJ Aたまむら支所敷地

烏川(関越道下流)左岸の崖地 対策及び史跡保存整備計画は

茂木 信義 議員



Q 当該地域は、無堤で壁面、段丘上に大木が繁茂し、台風時の強風並びに出水で、崖地崩落の不安がある。

A 町長 国土交通省高崎河川国道事務所にて整備計画を確認要望したところ、平成19年度から調査・設計に着手したいとのこと。また、下流域の高水敷地は、条件が整えば占

Q 町長 今までは、両古墳とも古墳としての位置づけでいた。軍配山は古戦場史跡として、梨ノ

Q 軍配山は古戦場史跡として、梨ノ木山は古墳史跡として復元整備できないか。

A 町長 用して整備可能との見解である。グラウンドゴルフ場を中心とした公園として、同時進行工事を実施したい。



軍配山古墳

木山は古墳公園として町おこしに活用できるか、保存整備を検討する。



梨ノ木山古墳

障害者自立支援の充実を

川端 宏和 議員



Q 障害者への必要な情報の提供及び助言、障害者福祉サービスの利用支援のために、町はどんな取り組みをしているか。

A 健康福祉課長 現在、県で実施している障害者ケアマネージメント従事者研修に4名受講済み。その他の研修も予定されており、生活全般に係る相談などを行っている。

Q 地域自立支援協議会については、特に知的障害の特性をよく知っている相談員を、必要なだけ置くよう要望する。

A 健康福祉課長 身体・知的・精神の3障害を一元化するものであり、ばらつきのないよう、適切な配置をしたい。

Q 障害児者は屋外での外出時の移動支援を、どのように実施していくのか。

A 健康福祉課長 移動支援については、今後、移動支援事業と名称が変わる。町内外の事業所に委託し、利用者が事業所を選択出来るよう、情報の提供をしていく。

Q 健康福祉課長 移動介護については、今後、移動支援事業と名称が変わる。町内外の事業所に委託し、利用者が事業所を選択出来るよう、情報の提供をしていく。

Q 障害児のいる家族が就労する場合や、日常的に介護している家族が、一時的に活用している日中一時支援。しかし、家族が急病になることもあり、一時支援だと不安を感じる人も多い。市町村の

A 健康福祉課長 一時的に活用している家族が、一時的に活用している日中一時支援。しかし、家族が急病になることもあり、一時支援だと不安を感じる人も多い。市町村の判断により、適切な支援を行うとされているが、町としての判断は。

A 健康福祉課長 一時的に活用している家族が、一時的に活用している日中一時支援。しかし、家族が急病になることもあり、一時支援だと不安を感じる人も多い。市町村の判断により、適切な支援を行うとされているが、町としての判断は。



“ロンちゃんペーパー”を個包装作業中
(障害者福祉センターのばら)

住民こそ主人公の行財政改革を求める

宇津木 治宣 議員



Q 町は、事業実施や施設の管理運営を委託化や民営化の計画だ。クリーンセンター管理事務、上下水道料金収納・検針業務、学校用務員業務、学校給食センター調理業務などは委託。保育所や幼稚園は民営化。指定管理者制度の導入として児童館や図書館などをあげている。

A 町長 町は経営改革大綱や実施計画において、業務委託の推進や民営化、指定管理者制度の導入などを推進しています。納税者や利用者の立場からすれば「支払われた税金や負担に對して、最も価値のあるサービスの提供」を求めることは当然のことであり、また、そうすることが行政の責務であると考えます。今まで行政で行っていた仕事を民間に任せることによつて、行政の責任放棄だ、民間だとリスクが大きい、不

綱や実施計画において、業務委託の推進や民営化、指定管理者制度の導入などを推進しています。納税者や利用者の立場からすれば「支払われた税金や負担に對して、最も価値のあるサービスの提供」を求めることは当然のことであり、また、そうすることが行政の責務であると考えます。今まで行政で行っていた仕事を民間に任せることによつて、行政の責任放棄だ、民間だとリスクが大きい、不安だ、という声の一部にあるのも事実です。しかし、限られた財源の中で、今以上に満足度の高いサービスを提供するには避けて通れないと考えます。

Q 国が進めている「市場化テスト」とは、官と民の競い合いだ。これではほとんどの事業が民間に負けるということではないか。引き揚げた職員は何をやるのか。

A 生涯学習課長 図書館は現状でも工夫し

てやっています。教育長 幼稚園は民間に負けない。文部科学省における幼稚園教育の義務化などの流れもあり、慎重に見極めたい。



南幼稚園の運動会